

第94回 高尾山GREEN CLEAN作戦

2019年3月2日(土) 晴れ

9時前から集合時間までの間、周辺にてごみ拾いを行う。ビン、缶ペットボトル、たばこの吸い殻が目立った。9時30分から小公園にて開会式を実施。司会(入江)、コース及び見どころ説明(稲葉)、安全注意(野坂)、体操(みわの会・中村)の後6班(1班稲葉、2班廣川、3班臼井、4班野坂、5班福田、6班槇田)に分かれて9時45分に出発した。

アオキ(雌雄異株)の雄の蕾やオオモクゲンジの互生の枝ぶり(葉は対生)、オニグルミ、シホウチクの説明を受けながら6号路の入り口に着く。岩屋大師や小仏層群の粘板岩と砂岩の互層を直に感じつつ琵琶滝へ進む。途中、シャガの斜面での役割や、いたるところにイノシシによる斜面の攪乱を見る。琵琶滝では獅子と文殊菩薩、象と普賢菩薩を拝し、ムクロジの実を観察。十一丁目への急勾配の坂道を登る。琵琶滝付近ではミソサザイの鳴き声とともに姿を見たグループもあった。

2号路から3号路に入りキジョランの葉の裏にアサギマダラの幼虫(3齢くらいか?)を観察。陽だまりの路端にはタチツボスミレの可憐な花、ヤマネコノメソウの花、そしてヤマルリソウの出現に一同、ワ〜と歓声が上がった。豪華トイレ付近では黄色い花のダンコウバイやシュンランの蕾、そしてブロッコリー似の蕾と展開しつつあるおいしそうなおいそう新芽のニワトコを見ることができた。

先頭は12時20分ころもみじ台へ到着。昼食の後、13時に集合写真を撮影し、ごみを拾いながら高尾山頂を経由して1号路を下った。期待の富士山は春霞の中に……。豪華トイレを後に歩を進め、ほどなくツチグリたちがお出迎え、初めて見た参加者も夢中でシャッターを押していた。

奥の院ではムササビが食べ残したヤブツバキの花や蕾、葉などを見ることができ、下りの薬王院男坂手前左側石垣に再びヤマルリソウが小群落状態で出現し感激。白い副花冠や黄色い雄蕊も観察することができた。1号路では、再びアサギマダラの幼虫(4齢くらいか?)に遭遇するなど、十分楽しませていただきながら下山することができた。



もみじ台で集合写真

小公園に戻って班ごとに整理体操の後、閉会式、15時5分無事解散となった。穏やかな春の日差しを浴びて楽しいグリーンクリーン作戦であった。皆様、本当にありがとうございました。拾い集めたごみの量は燃えるごみ:20ℓ 2袋、ペットボトル:レジ袋(大)1袋、ビン:レジ袋(小)1袋、缶:レジ袋(小)1袋でした。

今月の見どころ: ナツボウズの花、ヤマネコノメソウの花、ツチグリ、ムササビの食痕、ヤマルリソウの花

開催場所: カツラ林コース〔琵琶滝〜2号路〜3号路〜5号路〜もみじ台〜高尾山頂〕

参加者: 50名(一般29名、FIT会員21名)

スタッフ: 入江〔代表、集合写真撮影〕、稲葉、臼井、熊木、野坂、廣川、福田、槇田〔補足〕

報告者: 丹野 修、

写真: 飯塚義則

* 次回の「第95回高尾山GREEN CLEAN作戦」は4月6日(土) 小仏〜城山コース。

高尾駅北口 8時40分集合、小仏バス停〜小仏峠〜小仏城山〜一丁平〜もみじ台巻き道〜高尾山。





開会式：安全の注意



ヤマネコノメソウ：葉っぱが互生



ヤマハリソウ：葉っぱに細かい毛がいっぱい



ニワトコ：ブロッコリー似の蕾



ツチグリ：雨上がりで銀色の脚を広げる



ヤブツバキ：ムササビにかじられた蕾



アサギマダラ：3 齢くらいの幼虫



閉会式：拾い集めたごみ5袋